

「ヒトiPS分化細胞技術を活用した医薬品の次世代毒性・安全性評価試験系の開発と国際標準化に関する研究」研究班／第4回 心臓安全性に関するシンクタンクミーティング2017合同公開シンポジウム

「ヒトiPS分化細胞技術の最新動向」

— 新たな薬効薬理試験法の開発に向けて —

3次元培養や疾患iPS細胞などヒトiPS細胞由来分化細胞を用いた標本作製技術が進展し、医薬品候補化合物の探索などに応用が広がっている。これらの新規アプローチは医薬品の薬理試験においてどのように活用できるのだろうか？本シンポジウムでは、心臓・肝臓・神経について標本作製技術の最新動向を紹介するとともに新たな薬効薬理試験法の開発に向けた議論を展開したい。

日時

2017年2月9日(木)
開場 13:00 開演 13:30
～18:00

会場

東京大学弥生講堂
一条ホール

〒113-8657

東京都文京区弥生1-1-1 東京大学農学部内
<http://www.a.u-tokyo.ac.jp/yayoi/map.html>

参加費無料 《申し込み不要》

※受付にて名刺を頂くか又は参加者名簿に記名をお願い致します。

主催

「ヒトiPS分化細胞技術を活用した医薬品の次世代毒性・安全性評価試験系の開発と国際標準化に関する研究」研究班

Japan iPS Cardiac Safety Assessment (JiCSA)

霧島会議運営委員会

協賛

日本安全性薬理研究会

【お問い合わせ先】

国立医薬品食品衛生研究所
安全性生物試験研究センター 薬理部

〒158-8501 東京都世田谷区上用賀1-18-1

TEL:03-3700-9704 FAX:03-3700-9704

担当: 諫田 (kanda@nihs.go.jp)

山崎 (daiju-y@nihs.go.jp)

プログラム

総合司会：山崎 大樹 (国立医薬品食品衛生研究所 薬理部)

13:30 開会の辞
関野 祐子 (国立医薬品食品衛生研究所 薬理部)

▶セッション1：神経

座長：佐藤 薫 (国立医薬品食品衛生研究所 薬理部)

13:40 「精神疾患患者由来神経幹細胞における神経分化異常の分子病態」
豊島 学 (理化学研究所脳科学総合研究センター 分子精神科学研究チーム)

14:10 「難治性疾患由来iPS細胞を用いた神経疾患研究」
六車 恵子 (理化学研究所多細胞システム形成研究センター)

▶セッション2：肝臓

座長：石田 誠一 (国立医薬品食品衛生研究所 薬理部)

14:40 「創薬研究支援材料として期待されるヒトiPS細胞の利用法」
松永 民秀 (名古屋市立大学大学院薬学研究科 臨床薬学分野)

15:10 「多能性幹細胞からの肝細胞の作製と利用」
桑 昭苑 (東京工業大学大学院生命理工学研究科 生命理工学部)

15:40 休憩

▶セッション3：心臓

座長：諫田 泰成 (国立医薬品食品衛生研究所 薬理部)

16:00 「iPS分化細胞とバイオ3Dプリンタを用いた細胞構造体の薬効薬理試験開発の可能性について」
中山 功一 (佐賀大学医学部 臓器再生医工学講座)

16:30 「ヒトiPS由来のマイクロ心筋組織：治験結果予測の可能性」
若槻 哲郎 (InvivoSciences Inc.)

17:00 「ICHガイドラインS7B/E14の改訂に向けた国際協調」
関野 祐子 (国立医薬品食品衛生研究所 薬理部)

17:30 閉会の辞
安原 一 (日本医療研究開発機構 プログラムオフィサー・
公益財団法人 昭和大学医学・医療振興財団 理事長)